

春がすみを探しに、霞ヶ関地区へ。かすみは、空気中に漂っている細かい水滴のために、遠くがはつきりと見えなくなる自然現象。主に春はかすみ、秋は霧と区別するそうです。また、かすみは朝焼けや夕焼けのことを指す場合もあるようです。

歩き回っている間に、暗くなってきました。西の空を見ると、きれいな夕焼けです。よく見ると山の中腹は、どうやらぼんやりしている様子。春の空気が光や山々と織り成す景色は刻々と変わり、しばらくの間、眺めてしまいました。

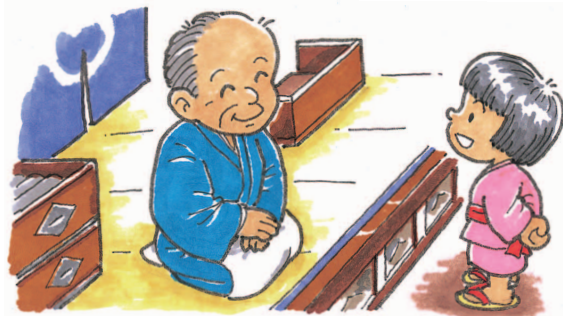


川越ならではの礼儀作法など

小江戸のならわし・その1

子どもたちに対して

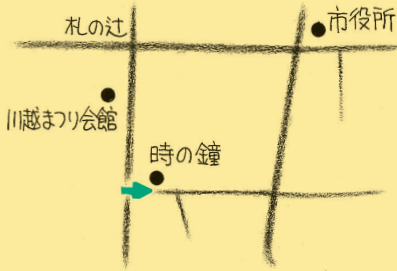
このコーナーでは、伝統ある川越のまちでの折り目正しい応接について、お伝えします。私の育った昭和初年ころは、どの商店でも非常にことばづかいがていねいでした。たとえ、来客が小さい子どもであっても、決してぞんざいな扱いはしませんでした。「何を差し上げましょうか」から始まって、大人に対する応対と寸分の違いもありません。初めて買い物をする子どもにとっても、それがたいへん印象深く、やがて自分もそうするのがあたりまえと、自然に思うようになりました。そういう意味では、ご近所がそのまま礼法の学校でもあったのでしよう。
*市文化財保護協会会長・宮岡正一郎みやおか しょういちろうさんから伺った話を、広報室がまとめました。



表紙

花束を受け取られる皇后陛下とスウェーデン国王妃陛下さいわいちやう（幸町）

川越を訪問された、ご一行の様子は4月25日発行の広報川越でお伝えします。



川越城築城550年

川越城が築城されて550年目のことし、さまざまな記念イベントが行われます